

事業所名	グループホーム 四季の里
日付	2009/3/31
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員 介護福祉士 社会福祉主事 認知症ケア専門士 訪問介護員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	※

1. 評価結果の概要

<p>講評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 四季折々の風景が望め、ホテルの里として知られる川沿いの道に面した場所にあり、山里の暮らしがいきづく地域に溶け込んだグループホームである。 母体が地元の医療法人で併設のデイサービスと共に地域との交流に取り組み、変化していく現状に対応すべくニーズに添ったサービスの提供と地域への貢献・社会的役割への取り組みに努めている。 個人情報・プライバシーの保護への積極的な取り組みと内外の研修による介護と看護の面での充実は入居者・家族の安心に繋がっているとされる。
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>介護計画書の作成において本人・家族の希望、要望をもっと詳しく記述されるように書式の改善をされると、よりプランに反映できる様に思われます。</p>

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	理念に「基本的な人権の尊重・社会規則の遵守・地域社会、地域住民ニーズに即した運営・適切な記録保持・徹底した個人記録管理」を掲げ入居者が穏やかな気持ちで過ごせる様な家庭的な雰囲気づくりに努め入居者と家族に安心していただけるホームを目指している。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	共同生活の中で個室の意味は大きくそれぞれが居室を中心に自由に過ごせる様一人ひとりに合わせた居室づくりと、スタッフの都合や業務本位ではなく寄り添いながら入居者の立場になって考え関わっていく様心掛けている。		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持		○
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	入居者一人ひとりの残存機能を活かした日常生活への取り組みと生活歴や趣味を活かしながら、さりげない声かけとさりげない介助、見守りでその人らしい暮らしへの支援に努めている。またホーム内でのさまざまな生活場面でプライバシーの保護に取り組んでいる。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		○
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人ですることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	毎月スタッフ会での課題を決めた勉強会とカンファレンスも含め問題点、改善点など話し合い、また、3か月毎の合同会議でスタッフ間の連携を図りサービスの質の向上に努めている。		